

令和6年度大槌町防災サポーター研修会に基調講演及び気象防災ワークショップの講師/スタッフとして参加しました。

2024年12月22日 開催

キーワード：人材育成、地域支援

開催場所：大槌町文化交流センターおしゃっち（岩手県大槌町）

2024年12月22日（日）、大槌町文化交流センターにて令和6年度大槌町防災サポーター研修会が開催され、防災復興支援センター 副センター長 杉安和也（総合政策学部）及び学生団体FROMメンバー3名が講師・スタッフとして参加しました。

大槌町が企画したこの研修会は、町内の防災サポーターおよび防災士取得者のスキルアップ等「共助」に関する取組の強化を行い、地域防災力の向上を図ることを目的に開催されたもので、大槌町内より15名が参加しました。

午前中は、杉安副センター長による基調講演「岩手の災害を振り返り、身を守る備えの意味を考える」が行われました。今年県内外で発生した災害を振り返りながら、東日本大震災では、主要道路の復旧に約1週間を要したことから、地域によってはライフラインがストップした状況下で約1週間外部と孤立した状態になったことを例に、約1週間を見据えた災害への備え、緊急地震速報鳴動後の身の守り方の意味等について講演いたしました。

午後は、風水害を想定した避難所運営ゲームHUGを用いたワークショップが行われ、ファシリテーターを杉安副センター長が務めました。15名の参加者が3グループに分かれ、地震時とは異なる風水害時の避難と避難所運営にはどのような事が想定されるか、FROMメンバーと一緒に考えながらワークが進められました。防災復興支援センターでは、今後も地域の防災力向上に資する活動を支援して参ります。

■開催概要：

- (1) 日時 2024年12月24日 10：00～15：00
- (2) 会場 大槌町文化交流センター おしゃっち
- (3) 対象 大槌町防災サポーター
- (4) 参加者数 15名

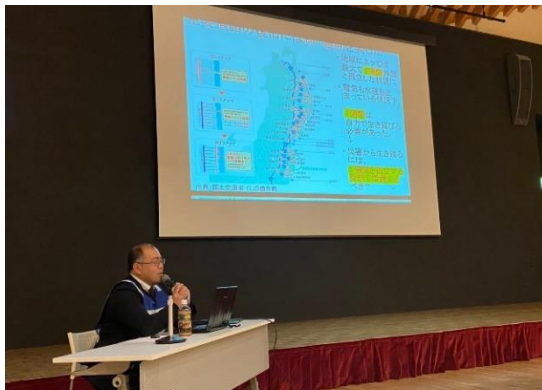


写真1、2 杉安和也副センター長による基調講演の様子



写真 3～5 風水害版HUGのワークショップの様子